

# ICT社会の発展を 価値ある「サービス」と「人」で支える

## TO OUR SHAREHOLDERS 株主の皆さまへ



株主の皆さまの日頃のご支援に心より感謝申し上げます。

この1年は、新型コロナウイルス感染症の拡大と緊急事態宣言の発出等により、企業収益、雇用・所得情勢、個人消費などが急激に悪化しました。政府や自治体の各種施策により経済活動はやや持ち直したものの、行動の自粛要請などが続き、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。当社が属する情報サービス業界においては、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPAなどの需要に加え、コロナ禍を契機にテレワーク環境の整備・強化に向けたインフラ案件が増加する一方で、景気の動向が不透明であることから、企業等のIT投資全般は抑制傾向にあります。このような情勢の下、当社では対面での営業活動に制限がかかる等の制約はあったものの、テレワーク対応やWeb会議等の活用により、お客様と綿密なコミュニケーションを図り、新規案件や既存案件の追加受注に注力した結果、当期は増収増益を確保しました。ここにこの1年の取り組みをご報告させていただきます。株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社をご支援賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

田中 博

## OUR VISION AISビジョン

### 創業の精神



約束はきちっと果たす  
決して迷惑はかけない  
礼儀を重んじ  
感謝の心を失わず  
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

◀ 社是

### 企業理念

旭情報サービスは  
生き生きとした人づくりに基づき  
創意工夫とたゆまぬサービス改善により  
情報社会の健全な発展に貢献します。



**Q1** コロナ禍で明暗が生じています。旭情報サービスはいかがでしたか。

**A1** コロナ禍が長期化する中、業績への影響を懸念してきましたが、総じて申し上げると仕事量は底堅く、ほぼ当初の計画に近い業績となりました。リーマンショックの時は、計画していた仕事が軒並み先延ばしになり、新規のプロジェクトはほぼゼロの状態でしたが、コロナ禍による影響は結果としてかなり限定的であったと言えるかもしれません。もちろん、業態によって明暗は異なり、観光業などはかなり深刻ですが、自動車産業などは下期から持ち直し、通常の業務体制に近づいています。

主要事業で見ると、ネットワークサービス部門は通常業務がしっかり継続できています。システム開発部門は一部でプロジェクトの取り止めや延期はあったものの、それに代わる新規の契約もありました。

**Q2** コロナ禍の長期化で、業務を見直す動きはあるのでしょうか。

**A2** 目に見えない感染症だけに、大手企業ほどテレワークに熱心で、私どもの社員も週2～3日はテレワークというケースも増えています。その分、業務の成果に対する評価は難しくなっており、対面で作業をしていたとき以上にお客様への“報連相”を心がけ、新しい提案も行うようにしています。

影響が大きいのは営業活動でしょうか。ビデオ通話やWeb会議を活用していますが、対面のようにはいきません。それでも業績が落ちなかったのは、現場のチーム力が高まり、お客様からの信頼が高まっているからだと思います。

また、このコロナ禍で、お客様先で働く当社社員からも数名の感染者が発生しました。お客様との取り決めに従って、自宅待機などの処置を行うとともに、適切な情報開示を行い、社内外への感染拡大防止と社員の安全確保に努めました。

**Q3** 最近は「DXによって業務の改革を図る」といった話が多く聞かれます。追い風となるのでしょうか。

**A3** 業務の効率化にIT技術を活用するのがIT化です。一方、DXは、IT化で集めたデータなどを活用して、“事業の変革”をうながすものとされています。わが国でもビッグデータやAIの活用が競争力のカギになるという認識が広がっています。ただ、それを進めるには「2025年の崖」と呼ばれる老朽化したシステムの更新とともに、約43万人とも言われるIT分野の人材不足を克服しなければなりません。脚光を浴びても、いきなり2倍3倍には人は増えません。経験を積み、技術力を身に付けなければならないのです。

旭情報サービスでは社員一人ひとりの技術力と人間力の両面から成長を促すとともに、モチベーションを高めていく努力を積み重ねてきました。当社の強みである長年にわたる蓄積とノウハウを活かして今後も人材育成に力を入れていきます。

**Q4** 中期目標（最終年度：2022年3月期）の手ごたえと今後に向けた抱負をお聞かせください。

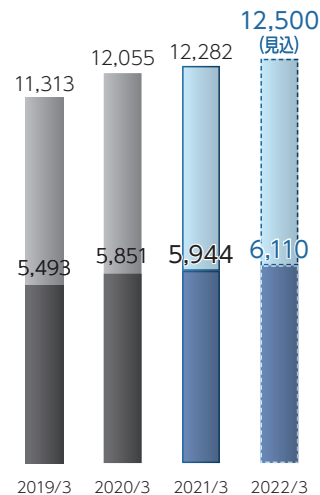
**A4** コロナ禍もあって株主様もご心配されていると思います。現在の中期目標は、売上高12,500百万円、営業利益1,240百万円、営業利益率9.9%ですが、高い目標に挑み続け、成長を続けることで、株主の皆さまへの配当ができますし、社員の給与も上げていけます。この1年は先行きを心配しましたが、社員の頑張りでもしる計画を上回る勢いを実感しています。

しかしコロナ禍の影響から経営環境そのものは早期の回復が見込めず、国内ITサービス市場への影響は避けられないものと想定しています。旭情報サービスとしては引き続きお客様の動向を迅速に把握するとともに、継続的な提案活動を実践することで業績の確保に努めてまいります。

## FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績の推移

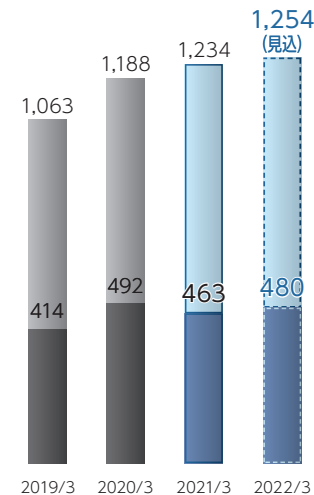
### 売上高

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



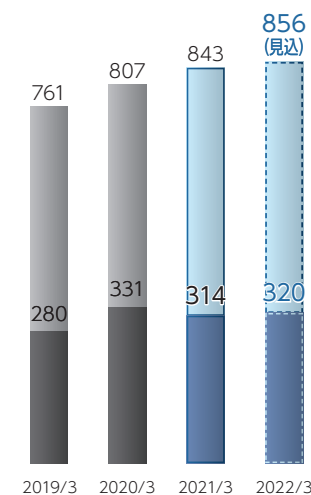
### 経常利益

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



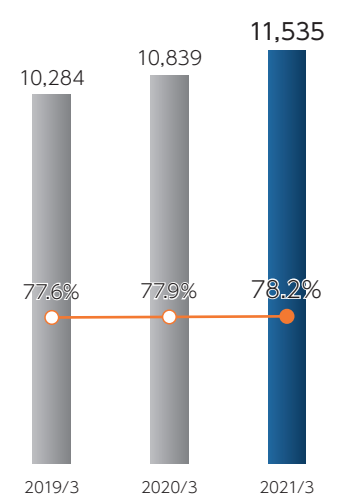
### 当期純利益

単位：百万円 下段：第2四半期 上段：期末



### 総資産 / 純資産比率

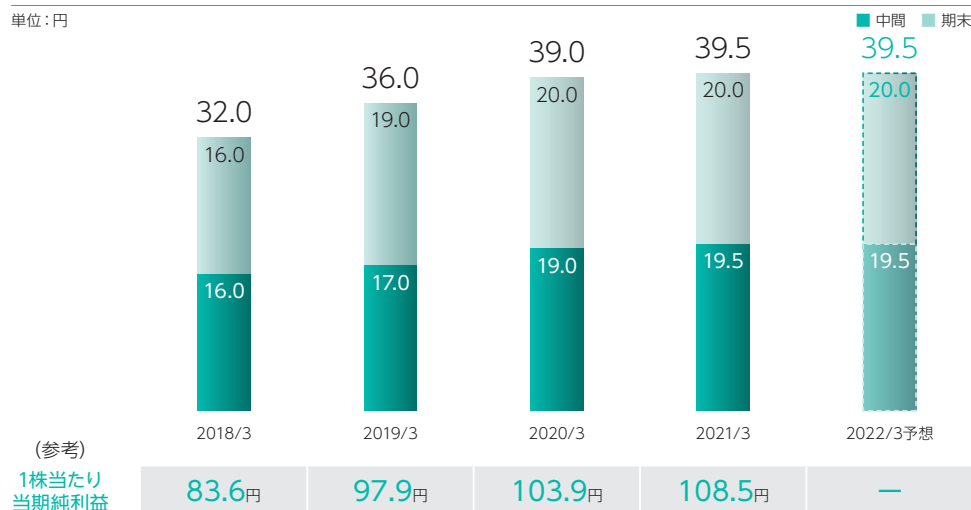
単位：百万円



## DIVIDEND 配当金

### 配当金の推移

単位：円



## CORPORATE DATA 会社概要

### 会社概要

(2021年3月31日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,604名
主な事業内容	当社は、ネットワークシステムの構築、運用管理をはじめヘルプデスクや障害対応などのサポート業務、およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、汎用系システムの保守・運用管理などの情報処理サービスを行っております。

### 役員

(2021年6月23日現在)

代表取締役社長	田中 博
常務取締役	濱田 広徳
取締役	宮下 勇人
取締役	水野 伸一
取締役	高橋 章近
取締役	田茂 義之
取締役(社外)	岩田 守弘
取締役(社外)	菱山 玲子
常勤監査役	上関 孝昭
監査役(社外)	三浦 州夫
監査役(社外)	清水万里夫
監査役(社外)	久保 英資

■ 株式の状況

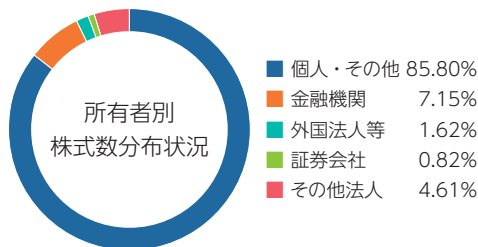
発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	4,144名

■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
旭情報サービス社員持株会	1,086,510	13.98
大槻幸子	420,520	5.41
三井住友信託銀行株式会社	374,000	4.81
光通信株式会社	307,600	3.96
大槻武史	168,752	2.17
日本生命保険相互会社	157,020	2.02
大槻剛康	150,383	1.93
大槻幸史	136,200	1.75
小野一夫	110,000	1.42
大槻広子	97,900	1.26

(注)上記のほか、当社所有の自己株式が492,367株あります。

■ 株式分布状況



株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	<a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/">https://www.smtb.jp/personal/agency/</a>
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.aiskk.co.jp/">http://www.aiskk.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座をお持ちの株主様 → お取引の証券会社にお問合せください
- 証券会社に口座をお持ちでない株主様 → 左記電話照会先にお問合せください
- 特別口座の株主様 (株券電子化以前に「ほふり」を利用されていなかった株主様) → 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、年1回の株主優待を実施しております。(毎年5月発送)

- 贈呈基準** 毎年3月31日現在で、**1,000株**以上お持ちの株主様
- 優待内容** 「カタログギフト」5,000円コース  
地球環境や社会貢献に配慮したモノやサービスを多数掲載。ご希望商品1点をお選びいただけます。



旭情報サービス株式会社

〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F  
<http://www.aiskk.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。